

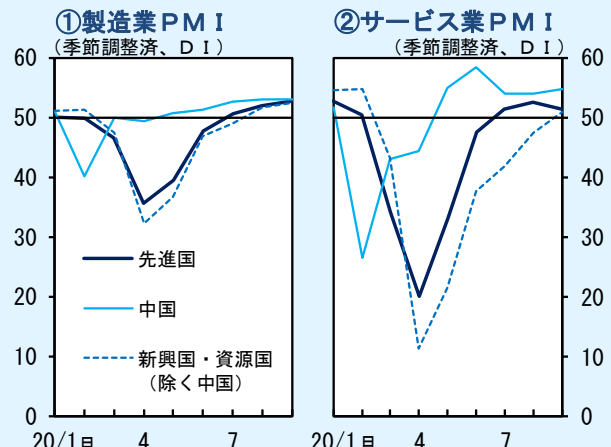
（BOX 1）海外経済の持ち直しの状況

海外経済は、大きく落ち込んだ状態から、持ち直しているが、そのペースは一律ではない。部門別にみると、製造業・財部門では、多くの国で業況感が改善しており、生産活動もはっきりと持ち直している一方、非製造業・サービス部門については、春先に大きく落ち込んだ後も、改善の動きは緩慢である（図表 B1-1、B1-2）。また、国・地域別にみても、特に非製造業・サービス部門では、改善状況のばらつきが大きい。本BOXでは、こうした海外経済の持ち直しペースの緩慢さやばらつきについて整理する。

中国では、春先以降、感染者数が低水準で推移しており、経済活動がいち早く再開していった。こうしたもとで、積極的なマクロ経済政策の効果発現やペントアップ需要の顕在化もあって、4～6月期には、GDP成長率が前年比でプラス転じた（図表 B1-3）。業種別にみると、5G通信網の整備やインフラ投資の拡大などから情報通信や建設、不動産が順調に回復している。また、製造業のGDP成長率と鉱工業生産も、こうした投資拡大の効果波及やグローバルなIT関連財需要の増加などを背景に、前年比プラスで推移している（前掲図表 B1-2）。この間、宿泊や飲食といったサービス業の回復は、自主的な感染防止への取り組みなどにより遅れていたが、足もとでは改善の動きも窺われる。

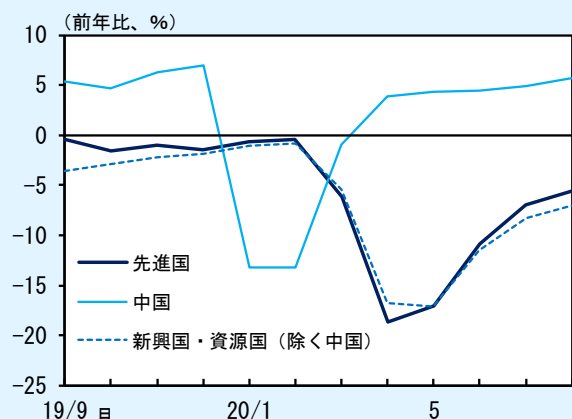
米国や欧州では、個人消費が春先に大きく落ち込んだが、その後は家計の所得補償を企図した財政面の措置に加え、ペントアップ需要の顕在化、さらに国によっては低公害車の購入補助金の拡大などあって、財消費を中心に持ち直している（図表 B1-4、B1-5）。こうしたもとで、製造業の生産

図表B1-1：主要国・地域のPMI



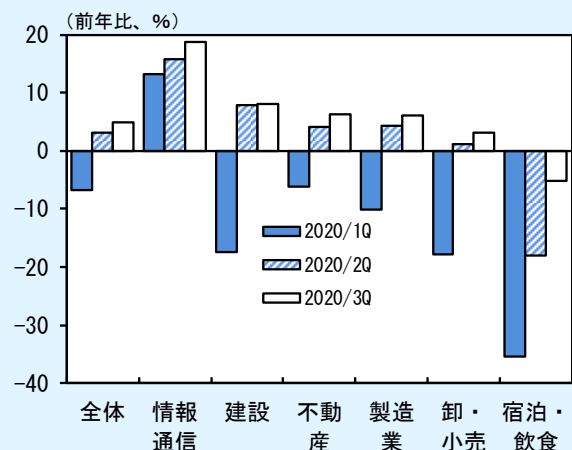
(出所) IHS Markit© and database right IHS Markit Ltd 2020. All rights reserved.、IMF、Haver  
(注) 1. 中国は、Caixin中国PMI。サービス業PMIは、サービス業PMI事業活動指数。  
2. 先進国は、4か国・地域（米国、ユーロ圏、英国、日本）を、IMF公表のGDPウエイトで加重平均したもの。新興国・資源国（除く中国）は、製造業が19か国・地域を、サービス業が3か国を、IMF公表のGDPウエイトで加重平均したもの。

図表B1-2：主要国・地域の鉱工業生産



(出所) オランダ経済政策分析局、Haver  
(注) 新興国・資源国（除く中国）は、オランダ経済政策分析局公表の付加価値ウエイトで加重平均したもの。

図表B1-3：中国の実質GDP



(出所) CEIC  
(注) 情報通信は、情報伝達・ソフトウェア・情報技術サービス。

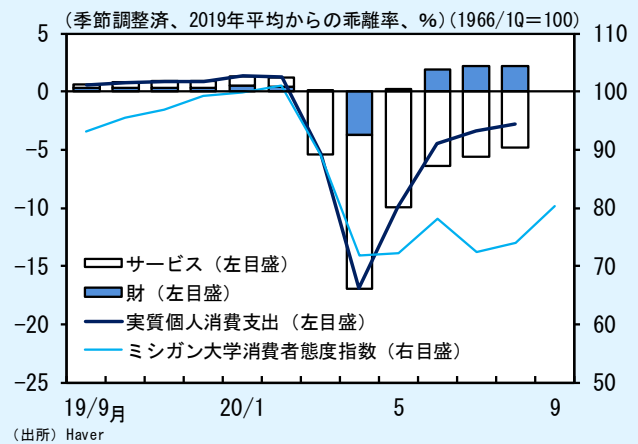
活動も、はっきりと持ち直している（前掲図表 B1-2）。一方、米欧とも、新規感染者数が増加するもとで、消費者コンフィデンスの改善ペースは鈍く、対面型を中心としたサービス消費の持ち直しペースは緩やかなものにとどまっている<sup>23</sup>。

最後に、中国以外の新興国については、国・地域により区々であるが、インドなど新規感染者数が増加または高止まりしている国・地域では、夏場以降も入出が抑制された状態が続いた（図表 B1-6）。これらの先では、消費者コンフィデンスも低水準で推移しており、サービスを中心とした消費の改善ペースは、4～6月期の大幅な落ち込みとの対比で見れば、緩やかなものにとどまっているとみられる。もっとも、そうした国・地域についても、経済全体をみれば厳しい状況が続いているものの、製造業の業況感や生産活動については改善方向の動きがみられている先が多い（前掲図表 B1-1、B1-2）。

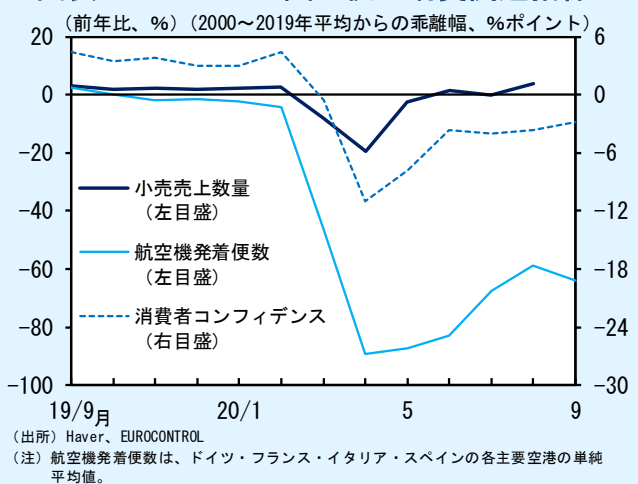
このように、海外経済は、全体としては改善しているが、感染症の動向が非製造業・サービス部門に及ぼす影響等を反映して、改善ペースには国・地域別に違いがみられている。先行きも、当面は、積極的なマクロ経済政策にも支えられて、改善を続けるものの、感染症への警戒感が残るなかでは、そのペースは、緩やかでばらつきを伴うものとなるとみられる。また、欧州等において公衆衛生上の措置が再強化されていることを踏まえると、一時的に当該地域の経済が下押しされることも考えられる。感染症の帰趨や、それが海外経済に与える影響の大きさについては、引き続き、きわめて不確実性が大きく、下振れリスクに注視していく必要がある。

<sup>23</sup> 感染症拡大の影響については、日銀レビュー「新型コロナウイルス感染症拡大の米国個人消費への影響—州別の高頻度データを用いた計量分析—」（2020-J-11）も参照。

図表B1-4：米国の個人消費関連指標



図表B1-5：ユーロ圏の個人消費関連指標



図表B1-6：新興国・地域の感染・移動状況

